



ほけんだより

令和3年 9月
どリーむ保育園

暦の上では秋を迎える月ですが、沖縄はまだまだ暑い日が続きますね。長い夏の疲れが出てくる頃です。感染症に気をつけ元気に活動できるよう、今一度子どもの健康生活を見直してみましょう。

医療が逼迫しています...

先日は2週間もの長い間休園のご協力ありがとうございました。現在、沖縄県内はかつてないほどの新型コロナウイルス感染拡大地域となっています。入院施設のある病院では実際に医療崩壊がおき、「中等度の症状であっても自宅待機」「救急車要請しても来てもらえない」などの声が相次いでいます。

県外では、生まれたばかりの赤ちゃんが亡くなるという非常に心痛ましいニュースもありました。

いつ・だれが感染してもおかしくない状況です。日頃の感染対策を徹底し、不要不急の外出はさけなるべく家庭保育のご協力をお願いします。

※園の開園や休園、濃厚接触者の特定などはすべて沖縄市役所や保健所の指示の元行います。

もしも濃厚接触者になったら...

①

園内で濃厚接触者（PCR検査対象者）が出た場合の流れ

園内消毒作業

濃厚接触者へ情報共有の同意確認を行った上で沖縄市役所・保健所へ通達。検査結果を待つ間、園は家庭保育のご協力期間となります。検査対象者が陽性だった場合、濃厚接触者になりうる園児・職員も登園する可能性があるため、協力期間中は感染リスクが高くなります。

陰性だった場合は翌日から通常保育となります。
陽性だった場合は②園内

専門業者
消毒作業

②

園内で陽性者が出た場合の流れ

園内消毒作業

陽性者へ情報共有の同意確認を行った上で沖縄市役所・保健所へ通達。園内での濃厚接触者の特定を行い、PCR検査を受けてもらいます。（同居家族全員検査を受けて頂く事をお勧めします）

陽性者の最終登園日から数えて2週間の休園期間になります。ただし、新たに陽性者が確認された場合は休園期間が延びる可能性があります。（新たに濃厚接触者特定を行いPCR検査をお願いします）

乳幼児のマスク着用について（日本小児医師会推奨）

乳幼児の呼吸器官は未発達のため、鼻と口を同時にふさぐマスク着用状態だと、呼吸がしにくく、心臓への負担がかかります。

熱中症リスク

熱がこもる、呼吸の浅さから熱中症のリスクが上がります。

体調の変化に気づきにくい

マスク着用の場合顔の面積をマスクが占める割合が多くなるため、顔色や唇の色の変化が分からず体調の変化への気づきが遅れる要因になりうる場合があります。

マスクをさわる回数が増える

手でマスクを上げ下げする行為も鼻と口を頻回に触る原因となるため感染リスクが上がる原因になります。外したマスクの管理も子どもには難しい…。

乳児はもちろん3歳以上の幼児であっても強要はせず、十分な注意観察が必要となります。また、運動時など活動量が増える場合は着用を控えましょう。

